

作成日：西暦 2025 年 6 月 17 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：誤嚥性肺炎発症経過とサンプル採取時期の最適化に関する
後ろ向き観察研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

2022 年 4 月から 2025 年 6 月までの間に、藤田医科大学病院 A 棟 7N 病棟に入院し、「誤嚥性肺炎」または「誤嚥性肺炎の疑い」と診断され、その後すでに退院した 20 歳以上の方を対象とします。

2. 研究目的・方法・研究期間

食物や唾液をうまく飲み込めず気管の中に入ってしまうと、一緒に流れ込んだ細菌などによって肺炎になってしまうことがあります。このような肺炎のことを「誤嚥性肺炎」といいます。誤嚥性肺炎のなり易さには飲み込みや咳込みの力の他にも、お口の中の細菌の種類や量が関連すると言われています。早期に見つけるためには、経験や主観に頼らず、体に負担が少なく、すぐにできる方法が必要です。私たちはこれまでに、唾液中のタンパク質を調べてきましたが、これからは口の中の細菌の変化にも注目し、病気の兆候をとらえる新しい指標（バイオマーカー）を探します。そのために、誤嚥性肺炎で入院した患者さんの唾液を複数回採取し、タンパク質や細菌の変化を調べる前向き研究を予定しています。

今回の研究では、その準備として、過去の入院患者さんのデータをもとに、誤嚥性肺炎がどう始まるか、その関係する要因を調べる「後ろ向き研究」を行います。この結果を活かして、前向き研究でのサンプル採取のタイミングや回数を決める予定です。

研究期間は 2025 年 6 月から 2030 年 3 月を予定しています。

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：電子カルテ上に記載されている生年月日、性別、身長、体重、既往歴、誤嚥性肺炎発症、治癒日、過去2年間分の誤嚥性肺炎の既往歴、抗菌薬の投与内容、気管切開の有無、内服薬、バイタルサイン、栄養摂取経路、各種検査結果、むせや嘔吐の有無、口腔内状態（口唇、舌、歯肉・粘膜、唾液、残存歯、義歯、口腔清掃、歯痛の状態）等を収集します。

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

研究機関：藤田医科大学

研究機関の長：学長 岩田仲生

本学の研究責任者：

藤田医科大学 研究推進本部社会実装看護創成研究センター・保健衛生学部

教授 須釜 淳子

6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学社会実装看護創成研究センター・保健衛生学部

教授 須釜淳子

准教授 三浦由佳

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2574

E-mail: junko.sugama@fujita-hu.ac.jp

yuka.miura@fujita-hu.ac.jp